

外国語活動学習指導案

呉市立呉中央小学校 指導者 香川 千恵

- 1 日 時 平成25年12月9日（月）～平成25年12月20日（金）
- 2 年・組 第6学年2組 男子14名 女子17名 計31名
- 3 場 所 6年2組教室
- 4 単元名 Hi, friends! 2 Lesson 7 “ We are good friends.”
－ 6年2組オリジナル昔話を紹介しよう！ －

5 単元について

- 本単元は、英語を用いた日本の昔話や外国の物語に興味をもち、まとまった英語の話の聞いたり、場面に合ったセリフを言ったりすることに慣れ親しむとともに積極的に英語で物語の内容を伝えようとするのがねらいである。単元の終わりには、これまでに外国語活動で慣れ親しんできた語彙や表現を生かして、オリジナルの物語を作って発表する活動を行う。本単元は、2年間の外国語活動70時間中の第61時から66時間目に設定されているため、慣れ親しんだ表現の中から児童が必要な表現を選び、オリジナルの物語を創作する活動を通して、自分の思いを伝える工夫をし、伝えることの楽しさを味わうことのできる単元である。
- 本学級の児童は、外国語活動に関するアンケートから、97%の児童が外国語活動を楽しみにしているという結果が得られている。楽しいと感じている活動については、97%の児童が「ゲーム」や「クイズ」を挙げている。その一方で、「友達にインタビューすること」「英語で自分のことを表現すること」「ALTと話すこと」などのコミュニケーションに関する項目については、肯定的な回答が84%と、やや低い傾向にあった。否定的な回答をしている児童の理由としては、「何と云えばよいか分からないから」「話す場面がないから」などを挙げている。

これらのことから、本学級の多くの児童は、ゲームやクイズなどの活動については楽しんで行っているが、英語で相手の思いを聞いたり、自分の考えを伝えたりする活動について楽しめておらず、双方向のコミュニケーションを図る必然性を十分に感じていない児童がいることが分かる。

- 指導に当たっては、単元の目標を達成させるために、各時間の学習活動を一連のものとして設計し、単元全体を通しての課題「ジャナ先生の友達に、6年2組オリジナル昔話を紹介しよう」が達成されるように授業を構成する。第1時に単元を通して解決する課題に出合わせ、単元を通して課題解決に向けての意欲を持続させる。そのため、各時間の始めには必ず単元の課題の確認を行い、その時間の活動が単元の課題につながることを意識させながら活動させる。また、単元を通して1枚のワークシートを使用し、毎時間の学習のめあてや振り返り等を書き込ませることで、課題解決に向けて見通しをもたせたり、今、単元のどこを学習しているのかを確認しながら活動させたりする。

劇づくりの活動の過程において、児童は、課題解決のために必要な活動を選んだり、英語表現を考えたりすることで活動に必然性が生まれると考える。その過程では、ペア、グループ、中学生との交流等の活動形態で共に学ぶ場を設ける。主にペアでは、新しく出会う表現や劇に使えるような既習表現を想起し、慣れ親しむ活動を行う。グループでは、昔話を基にどんなあらすじにするか、どんな英語表現を取り入れるか、伝えたいことをどのように表現するか等を話し合う。中学生との交流では、劇をより良いものにするため、わかりやすく伝えるための表現の工夫の仕方やもっと使える既習表現等について、中学生にアドバイスをもらいながら、劇づくりを行う。そして、ALTらとの交流では、児童は英語やあらゆる方法等を使って、相手にわかりやすく伝える工夫をしながら劇を演じた後、ALTらからの劇に対する感想を聞く。これらの活動の中で、相手の思いを聞いたり、自分の思いを伝えたりする双方向のやりとりを体験させることで、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につなげる。

6 単元の目標

- ・積極的に中学生やALTらのアドバイスや感想を聞こうとしたり、物語の内容を伝えようとしたりする。
- ・桃太郎やオリジナルの劇に使われている表現に慣れ親しむ。
- ・世界や日本の物語に興味をもつ。

7 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
英語やあらゆる方法等を使って、中学生やALTらの話を聞こうとしたり、わかりやすく伝える工夫をしながら劇に取り組もうとしたりしている。	桃太郎やオリジナルの劇に使われている表現を聞いたり言ったりしている。	世界や日本には様々な物語があることに気付いている。

8 単元計画

時	目標	主な活動	評価				
			コ	慣	気		
1	世界や日本には様々な物語があることに気付く。	【P】 誌面から物語を見つけ、どこの国の物語なのかを知る。 【L】 いろいろなお話のせりふを聞く。 【L】 桃太郎の物語を聞く。				○ 【気】 世界や日本には様々な物語があることに気付いている。	行動観察 ワークシート (単元を通して、振り返りも含んだもの) 分析
	【課題を知る】 ジャナ先生の友達に、6年2組オリジナル昔話を紹介しよう！						
2	桃太郎の物語に出てくる表現や劇づくりに必要な既習表現に慣れ親しむ。	【L】 桃太郎の物語を聞く。 【C】 チャンツを言う。 【P】 既習表現を使った「ラッキーゲーム」				○ 【慣】 桃太郎の物語に出てくる表現や劇づくりに必要な既習表現を聞いたり言ったりとしている。	行動観察 ワークシート 点検
	【見通す】 もとにする昔話を決め、計画を立てる。						
3	劇づくりに必要な既習表現に慣れ親しむ。	【C】 チャンツを言う。 【P】 既習表現を使った「スキット」				○ 【慣】 劇づくりに必要な既習表現を聞いたり言ったりしている。	行動観察 ワークシート 点検
	【追究する】 あらすじや登場人物等を決める。						
4	積極的に英語やあらゆる方法等を使って、中学2年生からのアドバイスを聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする。	【A】 六つのグループに分かれ、6年生と中学2年生が共に、わかりやすく伝える工夫やもつと使える表現はないか等について話し合いながら、劇づくりをする。				○ 【コ】 英語やあらゆる方法等を使って、中学2年生からのアドバイスを聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしたりしている。	行動観察 ワークシート 点検
	【追究する】 わかりやすく伝える工夫をし、劇の練習をする。 中学2年生に劇を見せ、アドバイスをもらう。						
5	劇づくりに必要な既習表現に慣れ親しむ。	【P】 既習表現を使った「リアクション名人になろう」 【A】 ペア、グループでアドバイスし合う。				○ 【慣】 劇づくりに必要な既習表現を聞いたり言ったりしている。	行動観察 ワークシート 点検
	【まとめる・表現する】 中学2年生に教わったことをもとに、劇を完成させる。						
6	積極的に英語やあらゆる方法等を使って、ALTらに考えた劇をわかりやすく伝えようとしたり、ALTらの感想を聞こうとしたりする。	【A】 わかりやすく伝える工夫をしながらつくった劇をし、ALTらの感想を聞く。				○ 【コ】 英語やあらゆる方法等を使って、わかりやすく伝える工夫をしながら劇をしたり、ALTらの感想を聞こうとしたりしている。	行動観察 ワークシート 点検
	【交流する】 ジャナ先生の友達に、6年2組オリジナル昔話を紹介する。						
	【振り返る】 劇づくりの活動を振り返る。						

【L】: Let's Listen 【C】: Let's Chant 【P】: Let's Play 【A】: Activity

【気】 言語や文化に関する気付き 【慣】 外国語への慣れ親しみ 【コ】 コミュニケーションへの関心・意欲・態度

9 第4時について

(1) 本時の目標

<小学校第6学年> 積極的に英語や様々な方法等を使って、中学2年生からのアドバイスを聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする。

<中学校第2学年> 積極的に英語を使って、わかりやすく伝える工夫や使える既習表現等について、小学生にアドバイスをする。

(2) 学習の展開

児童の活動	生徒の活動	HRT の活動	JTE の活動	ALT の活動	・指導上の留意点 ◎評価規準 <評価方法> 【評価の観点】
1 リーダー (中学2年生) を中心にみんなで挨拶をする。		・挨拶をする。			・笑顔で挨拶をし、楽しい雰囲気をつくる。
2 ペアで、自己紹介や話し合いで使用する英語表現の練習をする。		・自己紹介や英語表現の練習をすることを告げる。	・自己紹介や英語表現の練習のやり方をデモンストレーションする。		・相手によりよく伝わるように話すことや、反応を示しながら聞くことを意識させる。
3 めあてを知る。		・6年生のめあてを示す。	・中学2年生のめあてを示す。		・単元の課題や劇づくりの約束を確認し、よりよい劇にしようとする意欲を高める。
<p><小学校第6学年> 英語やいろいろな方法を使って、中学2年生のアドバイスを聞いたり、自分の思いを伝えたりして、劇をよりよいものにしよう。 <中学校第2学年> 英語を使って、わかりやすく伝える工夫やもっと使える英語表現などについて、6年生にアドバイスしよう。</p>					
4 【Activity】 グループのめあてを決め、グループごとに劇づくりをする。		・できるだけ英語を使って活動を進めるように言う。 ・児童生徒のよいところをほめながら活動を見守ったり、支援したりする。	・聞き方、聞き返し方、アドバイスをもらう時の言い方等をデモンストレーションする。 ・児童生徒のよいところをほめながら活動を見守ったり、支援したりする。	・聞き方、聞き返し方、アドバイスをもらう時の言い方等をデモンストレーションする。	◎小学校第6学年 英語やあらゆる方法等を使って、中学2年生からのアドバイスを聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしていたりしている。 <行動観察、ワークシート点検> 【コ】 中学校第2学年 英語を使ってわかりやすく伝える工夫やもっと使える英語表現等について6年生にアドバイスをしている。<行動観察・ワークシート点検> 【コ】 ・グループ内でペアを作ってやりとりさせることで、全員にコミュニケーションの機会を確保する。 ・英語でのコミュニケーションを図りにくい児童は、リードできるような中学2年生をペアにするよう配慮する。 ・自信のない児童を見守り、困った時には支援をする。
<p><話を聞く時> ・相づちをうちながら聞く。(OK! / Me, too,等) ・反応を示しながら聞く。(表情やジェスチャー等)</p> <p><アドバイスをもらう時> ・Advice, please. (アドバイスをもらったら) Thank you. ・How do you say ~in English? 等</p> <p><聞き返す時> ・Once more, please. ・More slowly, please.</p> <p><話す時> ・ジェスチャーをつけたり、絵を見せたりしながら、何とかして伝えようとする。</p>					
5 本時の振り返りをする。		・ワークシートに自己評価を記述するように言う。 ・振り返り等を確認する。 ・英語を使おうとする態度面を中心に評価する。		・英語面での児童生徒の良かったところを評価する。	・具体的に児童生徒の良かったところを評価することで、これからの外国語活動や英語学習への意欲につながるようにする。
6 リーダー (中学2年生) を中心にみんなで挨拶をする。		・挨拶をする。			